

明和病院 泌尿器科専攻医プログラム

明和病院泌尿器科の概要

常勤スタッフは3名。うち2名は日本泌尿器科学会認定指導医。2006年4月より、日本泌尿器科学会教育制度の刷新に伴い、基幹教育施設として認定された。したがって、当院のみでの研修で、専門医認定資格を満たすことが出来る。診療方針として、オーソドックスで確実な医療を目指している。特徴としては、経尿道的手術、結石破碎治療、小児泌尿器科診療があげられる。入院患者は1日平均約20名、外来患者は約50名、手術件数は、2005年で282例、ESWLは、保険請求ベースで173例となっている。主な手術は、経尿道的前立腺切除術63例、経尿道的膀胱腫瘍切除術43例、腎悪性腫瘍手術8例、膀胱全摘除術5例、膀胱尿管逆流手術9例、停留精巣手術9例などである。また、昨年より軟性電子内視鏡を導入した。排尿機能検査装置、泌尿器用デジタルレントゲンシステムを完備、また病院施設として、核医学診断装置、最新鋭のMRI、CT装置も完備しており、日常診療において必要な設備は充足されている。

研修方針

後期研修の到達目標は、日本泌尿器科学会専門医制度に基づく専門医資格の取得である。卒後2年間の初期臨床研修終了後の医師を対象に、専門医試験受験資格に必要な4年間の泌尿器科研修を行う。泌尿器科のスタッフとして、日常診療全般を受け持つことになるが、具体的な到達目標については、日本泌尿器科学会の研修目標(2006年度版)に準拠する(※)。当院のみでの研修が困難な項目については、兵庫医科大学泌尿器学教室に在籍することを前提に、同大学を始めとする関連施設での研修を組み入れることを積極的に考慮する。また、必要と希望があれば、非関連施設での研修にも協力したい。また、学会活動にも重点を置き、日本泌尿器科学会関西地方会、日本小児泌尿器科学会などを主な場として、最低年2回の発表を義務づける。

※http://www.urol.or.jp/kankeisya/info/kensyu_mokuhyo.html

研修終了後の進路

当院常勤医、基礎研究従事を含めての兵庫医科大学泌尿器科学教室スタッフ、並びにその関連病院のスタッフなどがもっとも可能性の高い進路と考えられるが、現在全国的に泌尿器科医は不足気味であって、さらに広い選択の可能性も十分に有り得る。個々の研修医師の希望と意欲を尊重して、進路選択に協力したい。